

| | | | |
|--|---|------------------|-------------------------|
| 令和2年度 | | | |
| 講習の区分 | <必修領域講習>全ての受講者が受講する領域 | 講習 時間数 | 6時間 |
| 講習の名称 | 【必修】教育の最新事情 | 講習形態 | 講義 |
| 開設者 | 長崎純心大学 | 定員 | 120名 |
| 開設日/時間 | 令和2年8月1日(土)/ 8:55~16:30 | 会場 | 長崎純心大学(長崎市三ツ山町) S205 |
| 履修認定対象職種 | 教諭、養護教諭、栄養教諭 | 主な受講対象者 | 全学校種 |
| 担当教員(講習担当者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 石田憲一 (人文学部) | | | |
| 担当教員(分担担当者等) 坂本雅彦(人文学部)、野本美和子(人文学部)、三浦佳代子(人文学部) | | | |
| 講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい： 学校における日々の教育実践を、一定の距離をおいて冷静に振り返るための知識・視点を提供し、以て教育的力量の向上に寄与することを目的とする。 講習方法： 講義形式にて行う。 講習到達目標： ・国の教育政策や世界の教育の動向(学習指導要領改訂の動向、法令改正及び国の審議会の状況を含む)を理解する。 ・教員としての子ども観、教育観を振り返り、自らの課題を見つめる。 ・子どもの生活の変化とそれがもたらす課題を理解する。 ・子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)を理解する。 | | | |
| 講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要)： 講義項目は、「教員としての子ども観、教育観についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」「国の教育政策や世界の教育の動向(学習指導要領改訂の動向、法令改正及び国の審議会の状況を含む)」の4項目である。 講習計画・内容： | | | |
| | 内容等 | 時間 | 担当教員 |
| | オリエンテーション | 8:55~9:00 (5分) | 石田憲一 |
| | 国の教育政策や世界の教育の動向(学習指導要領改訂の動向、法令改正及び国の審議会の状況を含む) | 9:00~10:15(75分) | 石田憲一 |
| | 教員としての子ども観、教育観についての省察 | 10:25~11:40(75分) | 坂本雅彦 |
| | 午前中の講習についてのまとめ・試験 | 11:50~12:20(30分) | 坂本雅彦 |
| | 昼休憩 | 12:20~13:10(50分) | |
| | 子どもの生活の変化を踏まえた課題 | 13:10~14:25(75分) | 野本美和子 |
| | 子どもの発達に関する脳科学、心理などにおける最新の知見(特別支援教育に関するものを含む) | 14:35~15:50(75分) | 三浦佳代子 |
| | 午後の講習についてのまとめ・試験 | 16:00~16:30(30分) | 三浦佳代子 |
| | キーワード:(国内外の教育政策)(学習指導要領)(教育観)(子どもの生活)(子どもの発達) | | |
| 成績評価の方法 | 成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。 | | |
| 成績評価の基準 | 成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。 | | |
| 履修認定の方法 | 成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 講習時にプリントを配布します。 | | |
| 各自で準備するもの | 特になし | | |
| 受講上の注意 | 1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。 | | |